

「一緒に成長すること」	ジョブコーチ K	Vol. 234	令和6年度 5月
<p>ジョブコーチとして8ヶ月が経ちました。4月になり、新しい環境で、ワクワクと緊張感を持ちながら、これからも勉強していきたいと思っています。</p> <p>今回は、初めて担当したAさんについてお話したいと思います。Aさんは、特性として対人関係とコミュニケーションを苦手としています。実習先からコミュニケーション不足を指摘されることがあり、それにより、「移行支援という形もある」と言われたことがありました。本人にとって、ベストな選択かどうか思案していたところ、別の会社の応募が決まり、センターで、ビジネスマナー、尊敬語、謙譲語等の練習、模擬面接を一緒に行いました。練習を始めた頃は、「お母様はいらっしゃいますか？」→「お母様はいらっしゃらないです」、「おめでとうございます」→「おめでとうございます」と復唱するなど、会話としては「ありがとうございます」が本来の流れなのですが、そのままオウム返し会話になってしまことが多かったのです。しかし、練習を重ね、面接も1次・2次と進んで行くうちに、ご本人の会話能力が随分と伸び、言葉かけ（まくら言葉）、言葉の意味、話の要約など会話がスムーズにいくようになっていきました。</p> <p>また、以前は、こちらからの電話確認が多かったのですが、「報告」「連絡」「相談」の必要性、大切さを話す中で、面接後の電話連絡もAさん自身からしていただけるようになりました。会話も笑い声が増えていったように感じます。ご本人の、実直な性格と私たちチームとしての繋がりが、良い関係性を築けたと感じています。そして、無事、試験をパスして4月から希望した会社で働くことになりました。これからの経験が益々、Aさんの成長に繋がると思うと、とても楽しみです。</p> <p>この支援を通じて、私も一緒に成長させていただいたように思います。私自身の日常生活においても、自身の語彙力や伝えたいことを言語化する力が必要だと感じます。そのため、文献を読む、支援内容を振り返り普段から言語化を意識し、相手に伝わるよう努めなければならないと考えています。加えて、相談・支援を通じて、私自身が必要とするスキルを気付かせてもらっています。そうして、気づいた不十分な点について、研鑽に務めながら相談者の方とともに、これからも成長していきたいと思っています。</p>			